

■ 黄金よりも強し

(五卷)

帝キネ芦屋現代映畫

原作者

篠原利秋

脚色者

増田敏夫

監督者

小間使おみよ

撮影者

老僕定七

主要役割

松井茂二郎氏

鈴木清一氏

大森勝氏

木戸博氏

澤里見泰輔氏

野らん明氏

筒子娘氏



柴田丹七

瞬間

林太郎氏

「略筋省略」  
芦屋獨得の仁和加式コメデーから一步脱した  
二郎氏の原作もさすが御商賣柄抜け目がなく、取  
巧みに筋を運んで居る點や柔道對拳闘などなぞを取  
入れた腕前は玄人はだしであるが惜しい事にはば取  
映畫そのものよりも寧ろ説明者に依つて生かさば取  
れる映畫となつて居る事である。即ち映畫そのもの  
に依つて完全に観客の心理を奪ふ何ものかががあつて  
あつて欲しいものである。大森勝氏の監督は劇は割  
合に俗受のみ狙つて居ない態度が見えて居ても好い  
ラストの抜ひなど俗受の手段をさして居たらもつと  
幾らも有る筈だがある方が返つて面白味があつた。  
俳優では松本泰輔氏の篠原が最も傑出して居る。  
磊落らしい性格の端を巧みに演出して居る。撮影そ  
の他は餘り感心出来ない。

興行價値——正喜劇として上部に属する映畫で、とりには少し無理だが三本立ての中にはさむに適當である。(宣月廿三日、大阪芦屋邊劇場封切)

山本錦葉

興行價値——正喜劇として上部に属する映畫で、とりには少し無理だが三本立ての中にはさむに適當である。(宣月廿三日、大阪芦屋邊劇場封切)